



こんにちは！地域おこし協力隊の古田です。ようやく春になりましたね！南越前町は冬の寒さが厳しい分、暖かくなると本当に嬉しいです。大阪や東京にいたころは春が来ても「暖かくなったな～」くらいにしか思っていなかったのですが、四季の変化をはっきりと感じられることがありがたいなと日々感じております。



MINAMIECHIZENCHO_IJYU
インスタグラム

私は先日「福井県地域おこしシンポジウム」で、令和6年度の活動成果を発表してきました。このシンポジウムは県内の地域づくりに関わる方々が集まり、基調講演やパネルディスカッション、成果の報告を行うものです。



成果報告会では、私を含め6名の地域おこし協力隊が活動の成果を発表しました。勝山高校で探究の授業を担当していた方や、越前海岸でオリーブの栽培に取り組んでいる方、大野市の七間通りで印刷所を運営している方、おおい町の魅力発信に取り組んでいる方、六呂師高原の星空観光に取り組んでいる方、それぞれ多様な領域で楽しそうに活躍されていて、

聞いているだけワクワクする発表でした！

私も林業体験や体験プランの作成、移住フェアへの出展、テレビ出演、Instagramでの発信など取り組んだ活動を発表させていただきました。発表後、たくさんの方から「よかったよ！」「楽しそうやね！」と声をかけていただき、拙いながらも自身の活動についてお伝えすることができたと感じています。なにより、今回の発表を準備するにあたって活動を振り返ったとき、南越前町の皆さまに助けていただきながら、さまざまな経験ができたことを改めて実感し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。



この調子であと2年頑張っていきますので、引き続き応援よろしくお願いします！

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013



地域包括支援センターです

■問合せ 地域包括支援センター（保健福祉課内） ☎ 0778-47-8009
 社会福祉協議会地域包括支援センター（今庄福祉センター2階） ☎ 0778-45-1170
 // 河野支所（河野保健福祉センター1階） ☎ 0778-48-2260

カラダ、動かしていますか？～健康体操教室のご案内～

健康体操教室では、健康でいきいきとした生活を送るため、体力づくりや筋力向上を目的とした運動を行っています。体力に不安がある方でも安心して参加できる内容です。一緒に楽しく体を動かしてみませんか？ご参加をお待ちしています。

- 【対象者】 概ね65歳以上の方
- 【講師】 健康運動指導士 高橋有希子先生
- 【参加費】 無料（申込不要）です。直接会場へお越しください。
- 【持ち物】 水分補給のための飲み物、汗拭きタオルなど
※しおさい体操は内履きをご持参ください。



◀南条健康体操の様子

教室名	会場	開催日（町民カレンダーに記載）
南条健康体操	南条地区公民館	毎月2回金曜日 14:00～15:00
タッピー体操クラブ	今庄住民センター	毎月1回金曜日 14:00～15:00
しおさい体操	糠公民館	毎月1回金曜日 10:00～11:00

※講師や会場、日時は変更となる場合があります。

「脳の健康度測定」を実施します！

高齢社会の日本では、認知症は誰がなってもおかしくない身近な病気です。認知症の予防には、まずは自分の脳の状態を知ることが大切です。自分の脳に関心を持つ機会として、今年も「脳の健康度測定」を3地区にて実施します。最近物忘れが気になるな…という方、まだまだ私は大丈夫！という方、ぜひ自分の脳の健康度をチェックしてみましょう。

対象 令和7年4月1日現在で要支援・要介護認定を受けていない65歳から74歳までの方
(対象者の方には郵送にてご案内していますので詳細はお手元のチラシをご確認ください)

会場 「会場集合型」と「自己測定型」が選べます。

申込期間 5月26日(月)～6月6日(金)

申込先 地域包括支援センター ☎0778-47-8009



「セルフチェック」

- 家族や周囲の人から「何度も同じことを聞く」などと指摘される
- 置き忘れやしまい忘れが多くなり、よく探し物をしている
- 歩き慣れた道なのにどこにいるか分からなくなってしまうことがある
- 今日が何月何日か分からなくなることがよくある

あてはまる項目があれば認知機能の低下のサインかもしれません。

➔「かかりつけ医」または地域包括支援センターまでご相談ください。



梅雨が近づき様々な生き物が見られますね



ガムシ

て人それぞれ違うものなんです。

そういった条件や要素が絡み合うと不安が生まれます(しんどいですよね)。そういった不安を、お話を伺いながら解きほぐしていき、時には労働や心理の専門知識に基づいたアドバイスをさせていただき、相談者にとって最適な選択ができるようサポートするのがキャリアコンサルタントです。

この資格を活かして、移住を希望されている方に対する支援はもちろん、町民のみなさまからのご相談を受けられるような企画も作っていただければいいな、と考えております。初めての就活で不安、やる気が出ず仕事に身が入らない、転職を考えている、定年後の仕事とこれからの人生設計など、さまざまな年代の方々のご相談に乗れたらと思っています。

また、企画ができれば、広報紙やホームページなどからお知らせしていこうと思っております！引き続き応援よろしくお願いいたします！

問合せ 観光まちづくり課 ☎0778-47-8013



MINAMIECHIZENCHO_IJYU
Instagram



イモリ



地域包括支援センターです

■問合せ 地域包括支援センター(保健福祉課内) ☎0778-47-8009
社会福祉協議会地域包括支援センター(今庄福祉センター2階) ☎0778-45-1170
河野支所(河野保健福祉センター1階) ☎0778-48-2260

「自らが認知症予防、そして地域に貢献できる介護予防サポーター」

令和7年度 サポーター養成講座 参加者大募集！

1 脳元気お助け隊講習会(介護予防・フレイル予防サポーター養成講座)

脳元気お助け隊(介護予防サポーター)は、認知症予防・介護予防・健康づくりを学び、家庭や地域で自主的に介護予防活動を実践するボランティアです。また、過去に講習会を受講した方で、フレイル予防サポーター養成講座を未受講の場合は、第2・3回のみ受講が可能です。

対象 74歳以下の町民の方

場所 南条保健福祉センター

講師 医師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士、フレイル予防トレーナー など

申込み 6月13日(金)までに、地域包括支援センター(☎0778-47-8009)までお申し込みください。

開催日程 <注意>日程や会場が変更となる場合があります。

活動内容	
●	介護予防教室等への参加やお手伝い
●	周囲の方々への介護予防に関する知識の普及 など

回	日時	内容
1	7月1日(火) 13:30~15:45	お 話：認知症と予防を知ろう！ 実 技：身長・血圧の測り方、脳元気体操☆ロコトレ・コグニ など
2	7月8日(火) 13:30~15:45	【フレイル予防サポーター養成講座①】 お話と体験：「フレイル(虚弱)予防」について
3	7月15日(火) 13:30~15:45	【フレイル予防サポーター養成講座②】 お話と実技：フレイルチェック、サポーター活動
4	7月23日(水) 13:30~15:45	お 話：脳元気！からだ元気！のための食習慣 お口の健康から目指そう健康長寿
5	7月29日(火) 13:30~15:45	お 話：ボランティアについて学ぼう！ 体験談：介護予防サポーターの活動を通じて 実 技：脳元気体操☆回想で脳を活性化、レクリエーションをやってみよう！
6	8月5日(火) 13:30~15:45	実 技：脳元気体操☆有酸素運動、ロコトレ・コグニ など 実 践：習ったことをやってみよう、今後に向けて

2 認知症サポーター養成講座

対象 18歳以上の町民の方

場所 南条保健福祉センター

講師 認知症キャラバンメイト

申込み 8月1日(金)までに、地域包括支援センター(☎0778-47-8009)までお申し込みください。

開催日程 <注意>日程や会場が変更となる場合があります。

回	日時	内容
1	8月12日(火) 13:30~15:00	お 話：認知症サポーターとは 寸 劇：見てみよう！やってみよう！認知症の方への接し方





鉢伏山にも登ってきました

こんにちは！地域おこし協力隊の古田です。いよいよ、暑くなってきて夏の到来を間近に感じる日々ですが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか？

私は先日、大阪で開催された移住フェアに出展してきました。昨年は、南越前町として久々の出展ということで、手探りで準備を進めていましたが、おかげさまで活動を通じて人脈も広がっており、昨年以上に様々な魅力や話題を持って、移住フェアに臨むことができました。

さらに、今年は東京・有楽町にある全国の自治体の移住情報が集まる「ふるさと回帰支援センター」にて南越前町単独のイベントも実施する予定です。

それに先立ち、先日、ふるさと回帰支援センターの福井県担当の方に東京からお越しいただき、私が町内をご案内しました。「詳しくご案内いただけて、とても良い印象を持ちました」「歴史ある街並みに日常の生活が溶け込んでいて、いいところですね」「東京での相談業務に役立つ情報がたくさんありました」とのコメントをいただき、少しずつ南越前町の魅力が広がっていると感じています。引き続き、関係者の皆さまの力をお借りしながら南越前町の魅力発信を進めていきます！

そして、もっと大事なことがあると思っています。それは、今、この町で暮らしている皆さまが、南越前町での暮らしに誇りを持てるような活動を続けていくことです。

私自身、南越前町で暮らしてみても改めて思いますが、「山にも海にもすぐ行けて、全国有数のハス公園が身近にある」「400年以上の歴史を持つ宿場や有形文化財のトンネルが生活道になっている」「農林水産業が身近にあり、暮らしを自ら作っていける」など、普段生活していれば「当たり前」と思うことが、町外の人々からすると普通ではなく、めっちゃくちゃ贅沢な環境だと感じています。

そんな環境の中で、暮らすことの素晴らしさを広く伝え、それに共感してくださる方々が町を訪れることで、この町の皆さんが楽しく暮らしている輪に触れて、楽しさの輪が広がっていく。そんな活動をしていきたいと思っています。引き続き、頑張っていきますので、応援よろしくをお願いします！

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013



MINAMECHIZENCHO_JYU
Instagram



河野観光協会にて

BOOK FESTA

1日限定出張販売

南越前町に本屋さんがやってくる

2025.6.28 (土)
10:00~16:00

オススメ本が大集合
文芸書・実用書・児童書・コミックetc

会場：道の駅「南えちぜん山海里」 1階 研修室

〒919-0203
福井県南条郡南越前町牧谷39-2-2
TEL.0778-47-3690/FAX.0778-47-3692
<https://kineno-nanjo.com>
北陸道南条SA上り線に隣接

▲こちらは有料広告欄です

食改さんの 知恵袋

レシピ紹介

ピーマンのじゃこ入りきんぴら

《材料(2人分)》

- ピーマン…………… 4個
- ちりめんじゃこ… 8g
- サラダ油…………… 大さじ1
- 塩…………… 少量
- 白いりごま… 大さじ1
- 酒…………… 大さじ1
- 水…………… 大さじ1
- しょうゆ…………… 小さじ1
- みりん…………… 小さじ1

} A
} B

《作り方》

- ① ピーマンは縦半分に切ってヘタと種を取り、斜め千切りにする。
- ② 鍋またはフライパンにサラダ油を中火で熱し、ピーマンを炒め、Aを加えて火を通す。
- ③ ちりめんじゃこをBを加え、手早く炒め上げる。味をみて塩で調味し、最後に白いりごまをふる。

食改さんの活動 生涯骨太ワッキングの様子

ちりめんじゃこには味がついているため、少量の調味料で美味しく召し上がれます。

南越前町 地域おこし 協力隊 NEWS



大阪での移住フェアの様子

こんにちは！地域おこし協力隊の古田です。いよいよ夏本番!! 暑い日々が続いておりますが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか？

先月号では6月8日(日)に大阪で開催された移住フェアに出展してきたお話をしましたが、今回は、その内容についてお伝えしたいと思います。

今回のフェアではいつも増して、熱心な方々が多く来場され、説明にも熱が入りました。しかし、話をしているうちに、「最初は「南越前町ってどこ?」と言われることがほとんどでした。「敦賀の上です」と説明すると「あ〜通ったことあるかも!」と言われるような状況です。

ただ、「山・海・里があって自分の生活スタイルに合った場所を選べる」「仕事も第一次産業を中心に都市部にはない仕事がたくさんある」「高速道路や鉄道が通っていて大阪からのアクセスもいい」といった話をすると、「おもしろそうなところですね」「そんなところがあるなんて知らなかった」「今度、福井に行く時寄ってみます」というお声をいただくことができました。

町外の方々と話をしていると思うのですが、南越前町のことが全然知られていないんですよ。一方で、知れば興味を持つ人は必ずいるという手応えを、今回感じることができました。引き続き、イベントなどに積極的に参加し、より多くの方々に南越前町の魅力を伝え、ファンを増やしていきたいと思っています。

今回の移住フェアでは、関西の方に向けて南越前町の暮らしや風景・文化について、たくさんお話させていただきました。初めは南越前町を知らなかった方々が話を聞く中で「面白そう!」と感じてくださる、そんな実体験を通じて、私自身も改めてこの町の魅力を実感しました。そして、その魅力の源泉は、日々、地に足をつけて暮らしている皆さんだと思っています。私にもその一部をお裾分けしていただいているような気持ちになり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も、生活を通して感じたリアルな南越前町の魅力を発信していきます。「南越前町、なんかええな」そう思ってくれる人が一人でも増えるように頑張っていきますので、引き続き、応援よろしくをお願いします!

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013



MINAMECHIZENCHO_JYU
Instagram

消費者通信 第38号

私たちの生活にひそむ身近な消費者トラブルや製品情報について、定期的に発信していきます。

地震に便乗した詐欺にご注意ください!



石川県能登半島地震や宮崎県日向灘地震など全国いたる所で地震災害が発生しています。

これに関連して、「義援金をクレジットカード決済で募集する」といった不審なメールが確認されています。

地震発生後は、被災地域にかかわらず、地震に便乗した詐欺トラブルや悪質商法が多数発生します。災害に便乗した不審なメールや電話等に十分注意してください。

【事例内容】「地震災害義援金をクレジットカード決済によるオンラインで募集する」とのメールがパソコンに届いた。寄付先としてネットバンクの口座が書かれており、口座名義が個人名であった。

トラブルに遭わないために

- 不審なメールは無視してください。また電話がかかってきてもすぐに切り、来訪の申し出があってもはっきり断りましょう。万が一、金銭を要求されても、決して支払わないようにしてください。
- 公的機関が、個別にメールや電話等で義援金や寄付を求めることはありません。公的機関を名乗って連絡が来た場合でも決して支払わないでください。また、寄付をする際は、募っている団体等の活動状況や用途をよく確認し、納得した上で寄付しましょう。

お困りの際は、福井県消費生活センターまたは総務課までご連絡ください。

■問合せ 福井県消費生活センター TEL 0776-22-1102
総務課防災安全室 ☎ 0778-47-8000 (消費者ホットライン)



こんにちは！地域おこし協力隊の古田です。まだまだ暑さが続いておりましたが、少しずつ秋の気配を感じる日々、皆さまお元気でお過ごしでしょうか？

私の方は今年度企画していた自立式の宣伝用ポスターが最近完成しました。南条・今庄・河野それぞれの地区の名所・名産が一目でわかるような構成にして、移住フェアや出向宣伝先で南越前町の魅力を写真を交えてよりわかりやすく説明することが出来るようになりました。

先日7月12、13日の関西万博への出向宣伝にも持って行っていただき、大活躍だったとのことで、作った甲斐があったなと感じています。普段は役場本庁2階、階段を上った正面に設置していますので、ご来庁された際にはぜひ見てみてください！

また、夏場はイベントシーズンということもあり、河野夏まつりの準備にも参加しました。のぼり旗や看板を立てたり、駐車場の白線を引いたりする裏方の仕事ですが、観光まちづくり課の職員の方と一緒に暑い中、ほぼ1週間かかりきりで準備をしました。

これまでは、花火大会に参加するだけでしたが、これだけ多くの方が準備に動いて、片付けをして…という現場を体感し、たくさんの方々の頑張りによって、イベントひいては町全体が運営されていることを実感しました。



こんなポスターができました！

きれいな花火の裏で静かに汗を流している方々を見て、「まちづくり」とはこういうことなんだと感じました。私自身もその力の一部になれるよう、そして、そんな町の魅力を一人でも多くの人に届けられるように引き続き頑張っていきます！

きれいな花火の裏で静かに汗を流している方々を見て、「まちづくり」とはこういうことなんだと感じました。私自身もその力の一部になれるよう、そして、そんな町の魅力を一人でも多くの人に届けられるように引き続き頑張っていきます！

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013



MINAMECHIZENCHO_JYU
Instagram



万博でも活躍しました！



夏まつり準備の様子

コンポスト肥料(名称：今庄エコロン)のお知らせ

町では、下水処理によって発生する污泥から、農作物などの生育に必要な有機肥料として活用いただけるよう、コンポスト肥料(名称：今庄エコロン)を生産しています。

肥料の品質の確保等に関する法律第7条の規定に基づき普通肥料としての大臣登録(生第82540号)を取得しています。

申込先

今庄中部処理施設管理室(南越前町湯尾第17号20番地)
Tel 0778-45-2234(管理会社携帯番号 090-7024-6371)
上記の電話が繋がらない場合(建設整備課 ☎ 0778-47-8003)

受け取りの期間および時間

月～金曜日の午前9時～午後4時 ※土・日・祝日・お盆・年末年始を除く

協力金

(自己完結リサイクルを目的とした環境創りに対する協力)

1袋 15kg入り 200円

参考成分分析値(令和7年2月現在)

窒素	5.9%	加里	0.5%	リン酸	5.6%	C/N比	5.6
----	------	----	------	-----	------	------	-----



コンポスト肥料
(造粒)

■問合せ 建設整備課 ☎ 0778-47-8003



こんにちは！地域おこし協力隊の古田です。ようやく涼しさを感じる日も出てきて、過ごしやすくなってきましたね！皆さまお元気でお過ごしでしょうか？

私の方も夏が過ぎて、少し落ち着いてきたかなというところ です。今年の夏は花ハスの収穫手伝いや、地域体験の案内など、怒涛の忙しさでした。その中で、移住促進に向けた動きも着々と進めています。

今年も林業体験合宿を11月に企画しています。今回は、昨年の反省を踏まえ情報発信を大幅に強化して、より多くの方々に届けるために様々な工夫を凝らしています。



インタビューの様子

工夫の1つが移住情報サイト「スマウト」への記事の掲載です。スマウトは7万人以上のユーザーが登録する日本最大級の地域情報サイト。ここに紹介記事を掲載しました。

紹介記事は私が昨年体験したことをもとに、都市部で生活する方に林業の魅力が伝わるよう魂を込めて書き上げました。また、森林組合の職員の方々にご協力いただき、よりリアルな空気感を届けられるようにインタビュー記事の掲載も今後予定しています。

さらに、11月までにオンラインイベントを実施します。参加検討者に事前に林業のことを知っていただき、参加する心理的なハードルを下げてもらえたらとの思いで企画しています。なお、スマウトへの記事掲載、オンラインイベントの実施にあたっては、協力隊OBの中谷さんにもご協力をいただいています。

そして、東京・有楽町にある「ふるさと回帰支援センター」でもイベントを企画中です。ここは日本全国の移住に関する情報が集まる施設で、地域の情報を発信する絶好の場。ここで、森林組合の職員の方と一緒に体験や対話を通じて、町の暮らしと林業をPRするイベントを企画しています。

移住や今後のキャリアを考える方々に対して、南越前町の暮らし、仕事のリアルを伝え、納得感を持ってこの町に来て、暮らしを楽しんで欲しい。そんな思いでこの企画を進めています。

一つ一つ、小さな活動の積み重ねが、やがて町の大きな力になると信じています。引き続き頑張っていくしますので、応援よろしくお祈りします！

■問合せ 観光まちづくり課 ☎0778-47-8013



MINAMECHIZENCHO_JYU
Instagram



スマウト記事

10月は食品ロス削減月間です

日本では、食べられるのに廃棄されている「食品ロス」が、年間464万トン(令和5年度推計)もあると試算されています。そこで町では、食品ロスの削減に向けて「食べ残しゼロ運動」を推進しています。3きり運動や宴会5箇条に取り組み、食品ロスを減らしていきましょう。

3きり運動とは？

「水きり」「食べきり」「使いきり」の3つの「きり」を実践し、ごみを減量する運動です。特に「食品ロス」を削減するためには、「食べきり」「使いきり」が重要です。

生ごみの水きり

生ごみの約8割は水分です。水気をしっかりと切って捨てましょう！

食事の食べきり

食べる量を把握し作りすぎない。外食時は、食べられる分だけ注文しましょう！

食材の使いきり

買い物前に冷蔵庫の中身をチェックし、スーパーでは、棚の手前から取る「てまえどり」を実践しましょう！

宴会5箇条とは？

食べ残しを減らし、宴会を楽しく過ごすための5箇条です。

①まずは適量注文。

②幹事さんから「おいしく食べきろうー」の声かけ

③開始30分、終了10分は席を立たずにしっかりと食べる食べきりタイム！

④食べきれない料理は、仲間で分け合おう。

⑤それでも、食べきれなかった料理は、

お店の方に確認して持ち帰りましょう。



町ホームページ

問合せ

建設整備課

☎0778-47-8003



こんにちは！地域おこし協力隊の古田です。秋らしい天気が続き、気持ちの良い日々が続いておりますが、皆さま、元気でお過ごしでしょうか。私の方は長野県木曾町(御嶽山があるところ)への視察や東京でのイベント主催など、おかげさまで盛りだくさんな日々を送っております。木曾町の視察は、仲倉町長にも同行いただき、移住に関する先進的な事例を視察してきました。木曾町は、山深い地域で古くからヒノキやカラマツなどの木材生産が盛んな地域です。これらの産業を中心にしたまちづくりを展開し、空き家の利活用でも役場と地域が連携して取り組むなど、南越前町でも応用可能な施策のヒントがたくさんありました。



MINAMECHIZENCHO_JJYU
インスタグラム

東京では、千代田区有楽町にあるふるさと回帰支援センター・東京にて、南越前町の暮らしと林業をPRするイベントを主催しました。



(左から1番目)南条郡森林組合の越さん
(左から3番目)福井県定住相談員の神林さん
(左から4番目)町観光まちづくり課 吉江さん

当日は、南条郡森林組合の職員の方にも同行いただき、たくさんの写真とともに、南越前町で暮らしている感じる心地よさや驚き、感動を紹介しました。さらには、つるし柿のお土産や町内産の木を使ったコースター作りなど、五感で楽しんでいただけるイベントになりました。

当日は満員御礼！10名の参加者(定員10名)の皆さまからも、「とても楽しく学びの多いイベントでした」「自然に近いところで暮らしたい思いを深めるきっかけになりました」といった感想をいただき、大きな励みになりました。



先進的な移住政策を伺ってきました。



みなさんに楽しんでいただきました！

今年の11月15日(土)から17日(月)には、町内での林業体験イベントを企画しており、こちらにも興味を持ってくださる方々がいらっしやりと今後に向けた手応えもしっかりと掴むことができました。このイベントは、林業を体験しながら、南越前町の暮らしを知り、今後のキャリアについて考えるきっかけにもなる盛りだくさんなイベントです。もちろん、町民の皆さまのご参加も大歓迎です！慣れ親しんだ町のことで、新たな切り口から町や林業を知ることができますよ！



林業体験
イベント詳細

地域おこし協力隊になって1年半。昨年から積み上げてきた様々なことが、少しずつ形になってきている実感があります。引き続き頑張っていくしますので、応援よろしくをお願いします！

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013



南越前町敬老会 ～いつまでもお元気で～



町内各地区で敬老会が開催され、長年にわたり社会や地域の発展に尽くされた皆さまの長寿と健康を祝いました。式典では、米寿の方と金婚のご夫婦にお祝い品が贈呈され、会場からは大きな拍手が送られていました。

また、アトラクションでは、園児による元気な歌と踊りや、ものまねショーなどが披露され、特色のあるステージを楽しみながら、親しい仲間との再会や歓談に笑顔があふれていました。



9月18日(木) 河野住民センター



9月25日(木) 今庄住民センター



10月2日(木) 南越前文化会館



広報



愛します 豊かな自然 海・山・里
つくります すこやかな心とからだ
育てます 助け合う優しい人とまち
伝えます 未来に向けた歴史と文化

令和7年/2025

12月号
NO.252

南えちぜん



特集 人と人を繋ぐ「地域の案内人」
地域おこし協力隊
古田隊員の取り組み

人と人を繋ぐ「地域の案内人」 地域おこし協力隊 古田隊員の取り組み

地域おこし協力隊の古田隊員が着任し、まもなく一年半を迎えます。これまで古田隊員は、県外で開催される移住フェアなどに積極的に出向き、移住を考えている人、地域とゆるやかに関わりたい人など、相談者の生き方や希望に合わせてまちの魅力を伝えてきました。

今回、これまでの古田隊員の活動内容や、感じている南越前町の魅力を紹介し、改めて「わが町南越前町」の誇れるところやほかにない良さをお伝えします。



PROFILE 古田 峻

大阪府出身。高知県の大学を卒業後、東京にて建設コンサルタント企業に就職。その後、地元大阪に戻り、家具職人として勤務した後、縁あって南越前町に移住。2年間、宿泊業や農業に携わった後、昨年5月に南越前町地域おこし協力隊に着任。最近ハマっていることは、スマートフォンアプリを使った語学学習(英語)です。

古田隊員の 日々の活動イメージ

②得られたことを形にする



実体験から南越前町の魅力や良さを中心にまとめる。

具体的な内容

- イベントの企画
- 記事や原稿の作成 など

①実体験をする



協力隊任務や日々の生活の中で様々なことに気づき、新たな発見を得る。

具体的な内容

- 林業、農業などの現場体験
- 地域イベントやまつりへの参加 など

③伝える



まとめたことを広報やホームページ、イベントに参加して発信する。

具体的な内容

- 林業体験の実施
- セミナーでの登壇 など

イベント参加者や住民の方からの反応や意見を基に企画内容を見直したり、新たな体験を立案したりするなど、より内容を深めていく。

古田隊員が地域の方々と共に歩む

「南越前町の魅力」を紹介します。

「最初に、南越前町に移住しようと思った決め手を教えて下さい。」

大学を卒業して東京で働き始めた頃から、田舎暮らしに憧れを持っていました。東京で自宅と職場を行き来する日々を過ごしていた時、「やっぱり田舎の方が面白いことができそうだな」と考え、思い切って飛び込むことを決意しました。情報収集していた時に出会ったのが、今庄宿にある「地域まるっと体感宿 玉村屋」です。玉村屋に滞在した時に感じた「南越前町の空気感」が自分に合ったことが移住の決め手です。直感的な要素が大きかったですね。



「日ごろどんな活動に取り組まれていますか。」

まずは、町を知ることが一番だと思い、町内至るところへ足を運び、自分の目で確認することを意識してきました。訪れた先の情景は、インスタグラムにも投稿し発信してきました。

また、明治大学生が来町された際には、私の町の観光施設や名所をご案内しました。人にお伝えすることで改めて町の魅力を感じることもでき、勉強にもなりました。

直近では、南条小学校にゲストティーチャーとしてお招きいただき、都会での生活経験のある私が思う南条地区の魅力を子ども達に伝えさせていただきました。



▲インスタグラムの投稿



▲学生に道の駅を案内



▲小学校での授業の様子

「不安はありませんでしたか。」

私だけではなく、移住希望者のほとんどが移住先での「仕事」に不安を感じています。私も自分に合った職が見つかるだろうか、生活しているだけの収入が得られるだろうか、大きな不安がありました。その不安を少しでも解消できるように、地域おこし協力隊になり「仕事」をテーマにした移住促進、関係人口づくりに取り組むことにしました。

「町内で魅力を感じた仕事を教えて下さい。」

林業です。町の約92%を山林が占めており、高齢化や生活様式の変化から林業の人手不足を伺い、南条郡森林組合に話を聞きに行きました。

実際に山林に入り、林業の現場を見て感じたことは、思っていた以上に環境が充実していることでした。収入面の安定はもちろん、ドローンやGPSなどIT技術の活用や、仕事で習得した技術をDIYに活かせるなど、**田舎暮らしを求める移住者にマッチしやすい職業だと感じています。**



▶ドローンを使った測量
▼GPSで森林の境界を測量



▲林業現場での一枚
▲木が倒れる瞬間



町の方に
聞く!

エピソード1

南条郡森林組合 越 徹さん

実体験の大切さ

林業を知るには、実際に山に入り、自分の体で体験し、山の空気を感じるが一番です。古田さんも一緒に山に入り経験したことは強みですよ。

変化

古田さんと出会い、若い人の考え方やこれまでになく視点など、こちらが良い刺激をたくさんもらっています。東京での移住イベントにも一緒に行き、良い経験をさせてもらいました。

新たな発見

中でも林業を副業で出来ないかというアイデアをもらいました。※「半農半X^{はんのうはんこう}」という言葉があるように、まさにこれからの林業のあり方のヒントになります。

※小さな規模の農業で自分や家族が食べる分を自給しながら、残りの時間で自分の好きな仕事ややりがいを感じる別の仕事(X)をすること。

(例)「半農半サラリーマン」、「半農半ライター」など。

南越前町の魅力

南条・今庄・河野の地域によって山主さんの考え方や人柄が異なるところが面白いですね。それぞれの地域性に合わせて仕事をしています。



▲町内産間伐材のオリジナルコースター





彦治郎さんの
トマト



▲メロンの受粉作業



▲大きな白菜



▲花ハス収穫の様子

「農業にも触れたそうですね。」
これまで、花ハスの収穫や畑の手伝いに行きました。南越前町に来るまで花ハスをじっくり見たことも、野菜の成長過程を見たこともありませんでした。
お手伝いをしていて気づいたことがあります。物を作るといرونんな人から声がかかるということです。「ホウレンソウの芽、出たか?」「これちよっと食べてみるか?」と、町内ではよくある光景かもしれません。
農業を通じて出会いが増え、新しい人との関わりが増えました。まさに、「人と人の助け合い」そのものが町内にあると私は考えています。

町の方に
聞く!

エピソード2

農業 田中 彦治郎さん

これまでの関わり

「農業や今庄のことをもっと知ってほしい」という想いで、地域おこし協力隊や都市部の学生などを畑に受け入れてきました。南越前町で人と人が知り合い、協力し合えることを考えてきました。

来た人に向けて

集落の活動も含め、ありのままの田舎暮らしを見てほしいです。農業や田舎暮らしの厳しさを言い伝えたことでもあります。
でも、来てくれたほとんどの人が「思ったよりも良い」と言ってくれますね。

相乗効果

自分が若い人と接すると元気をもらえるし、視野も広がります。自分にプラスになります。農業体験をした人から連絡があったり、再び今庄に来てくれたりした時は嬉しいですね。

これから必要だと思ふこと

素朴な人柄の人が多くですが、これからはもっと住民自らが動かないといけないと感じています。移住者や若者に対する地域の理解がこれまでに以上に必要だと思ひます。



▲ハウス内の折り菜



―都会にはない南越前町の魅力とはなんでしょうか。―

日常生活の中で人とのつながりを感じられることだと思います。社会全体の潮流として効率化が進み、買い物

一つを取ってもレジの無人化が進み、店員さんのいないスーパーが当たり前になりつつあります。町内には個人商店もスーパーも両方があり、時と場合によって選択ができる。選択肢があることが喜びだと思います。

町の方に聞くと！

エピソード3

上山精肉店 上山 優美さん

印象に残っている出来事

古田さんがお好み焼きを作ってくれて、それが凄く美味しかったです。さすが関西出身の人だと思いました。

普段の関わり

普段、買い物に来てくれた時、色々な話ができるので、とても親しみを感じます。

若い人や田舎が好きの人が来てくれると、こっちまで明るい気持ちになります。

嬉しかった一言

やっぱり「お肉美味しかったよ」とか、町外から来た人に「良い町ですね」と言われると、「南越前町は良いとこなんやな」と改めて思えます。

南越前町の魅力

人が親切。店の前をよく観光客が通りますが、道案内したり、雨が降った時に傘を貸したりしている近所の人もいます。みんな良い人です。



▲お裾分けの南京の煮物と牛スジ、柿



―どのように魅力を発信していますか。―

東京都千代田区有楽町に公益社団法人ふるさとと帰郷・移住交流推進機構が運営する「ふるさと帰郷支援センター・東京」があります。この施設は、全国の地方移住に関する情報を移住希望者へ発信している場所です。この場所で林業と暮らしをPRするイベントを企画・開催しました。具体的には、町内の暮らしや林業について写真やトークセッションを交えて首都圏の方に紹介しました。また、町内産の間伐材をその場で削り、木の匂いを感じながらのコースター作りやつるし柿の実食など、五感で南越前町の暮らしをイメージできるよう工夫しました。

―参加者の反応を教えてください。―

南越前町の認知度はまだまだ高いとは言えません。しかし、道の駅や鉄道遺産などの観光名所、つるし柿や甘露梅肉などの特産品を紹介すると、「通ったことがあります」、「自分の店で紅梅液を使ってメニューを提供しています」と返答があり、これまでも南越前町に触れたことがある人は潜在的にいるように思います。また、「良いところですね」、「一度行ってみたいです」という声も多く聞かれます。



▶町の魅力を伝えている様子



▲ふるさと帰郷支援センター・東京でのワークショップの様子



▲これからも頑張っていきます！



▲暮らしの魅力を伝えるよう心がけています



▲県内のシンポジウムでも成果を報告

「最後に町民の方に一言お願いします。」
人と接し、人とのつながりを感じ、人の温かさに触れる生活を送れることが、まさにこの町の魅力だと確信しています。

この魅力を発信しながら、町民の皆さまにも「わが町の魅力」や良さを実感し、自信や誇りをさらに感じていただけるよう、これからも活動を通じてお伝えしていきたいと思えます。



こんにちは！地域おこし協力隊の古田です。秋が足早に過ぎて、冬の足音が聞こえてくる日々ですが、皆さま、元気でお過ごしでしょうか。今回は特集ということで紙面を頂戴し、これまでの活動を振り返り、全体像を明らかにするような記事を広報担当者と打ち合わせを重ねて書いていただきました。

正直、就任当初は「何したらえんやろ…」と不安の方が強かったのですが、地域の方々、福井県庁や外部の団体の方々、役場の方々に支えていただきながら、なんとかやってこれました。

特集記事の作成にあたって、日頃からお世話になっている方々にインタビューをさせていただいたのですが、どなたにインタビューをお願いするかを考えた時、日々お世話になっている方々の顔が次々と浮かんできて「たくさんの方々に支えていただいているんやな～」と、とても嬉しい気持ちになりました。活動を通して出会った方々との何気ない会話や笑顔が、何よりの



四季を感じられるこの町が好きです

の励みになっています。地域おこし協力隊の活動は、地域の人と一緒に作っていくものだ日々実感しています。

こうして皆さまに支えられながら、林業体験を皮切りに、移住フェアの出展、ふるさと帰支援センターでのイベント開催、林業体験プランの企画をはじめ、様々な機会をいただき、幅広い活動ができています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は、現在の方向性を大切にしながら、林業に限らず、町の魅力を広く伝えていきたいと思っています。自然や人のあたたかさ、暮らしの豊かさを、体験を通じて感じてもらえるような取り組みを少しずつ形にしていけたらと考えています。

そして、南越前町を気に入って訪れてくださる方が増えることで、この町に暮らす住民の皆さまが「うちの町っていいな」と改めて思っただけなら何より嬉しいです。

残り1年半の任期も引き続き頑張っていきますので、今後ともよろしくお願いします！

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013



MIRAMECHIZENCHO_IJYU
Instagram



海的美しさにも感動します



新年あけましておめでとうございます。地域おこし協力隊の古田です。先ず、先月号の特集について、多くの反響をいただき、ありがとうございました。たくさんの方々にお声掛けいただき、皆さまが協力隊の活動や南越前町のこれからの真剣に考えていらっしゃるということを感じ、私自身、大きな励みになりました。



MINAMECHIZENCHO_IJYU
Instagram

さて、少し前のお話になりますが、昨年11月は、都市部にてPRの機会をたくさんいただきました。11月23日(日・祝)は東京ビッグサイトで開催された移住フェアに、29日(土)には仲倉町長のご友人にご紹介いただき、大阪の摂南大学で開催されたビジネス交流会に参加してきました。

東京での移住フェアでは、南越前町や地域おこし協力隊の活動に興味を持ってくださった方に2時間近く説明をさせていただき、町の魅力から協力隊活動まで、詳細に話し込んできました。



摂南大学でのビジネス交流会

また、大阪でのビジネス交流会では、多くの企業の方々との接点が生まれました。どなたも、地方におけるビジネスの可能性に大きな関心を持たれており「一度、南越前町を訪れて、どのような可能性があるのかを実際に見てみたい」といったご意見をいただくなど、都市部の方々からの地方に対する関心の高さを改めて実感する機会となりました。



東京ビッグサイトでの移住フェア

一方で、私としては「誰でもいいから来てほしい」とは考えていません。南越前町に住む皆さまが「来てくれてよかった」と思えるような方々に来ていただくことが何より大切だと考えています。

これからもご縁を大切にしながら、引き続き頑張っていきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013

南越前町の風、東京へ。

まちみらいチャレンジ2025 活動経過

町では令和5年から「明治大学政治経済学部奥山雅之ゼミナール」と連携協定を締結し、まちみらいチャレンジ事業に取り組んでいます。この事業は、学生の「学びの場の確保」、時代に即した柔軟かつ多様な「地域の活性化につながる挑戦」を支援し、地域に貢献できる人材の育成および地域の活性化を図ることを目的としています。

今年度、11月9日(日)には東京都台東区浅草にある地域の暮らしに触れることができるアンテナショップ「ちいきと」で、今庄つるし柿を題材にしたワークショップイベントが開催されました。同月30日(日)には、昭和会館で開催された今庄つるし柿フェスタに明治大学生が携わりました。

ワークショップイベント

当日は、外国人の方を含む10名の方が参加し、今庄つるし柿の歴史や製造工程を紹介する映像の上映、試食会、南越前町に関するクイズの企画などを通じて町の魅力発信、PRが行われました。また、「ちいきと」において、蓮の実入りの生羽二重餅や今庄そばっこ、黄金の梅ジャムなどの特産品5品を2週間販売されました。



ワークショップの様子



特産品販売ブース

今庄つるし柿フェスタでの活動

明治大学生たちは、今庄つるし柿フェスタでの「今庄つるし柿ちょっぴり体験」ブースの運営に携わりました。当日は、体験希望者の呼び込みや、受付、誘導などの役割を担い、来場者や今庄つるし柿生産者と触れ合いました。実際に南越前町を訪れて、町の空気を感じ、地域の方々との交流を深める機会となりました。



つるし柿フェスタの様子



■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013



こんにちは！地域おこし協力隊の古田です。新年を迎え、早くも1か月が過ぎようとしています、皆さま元気で過ごしてはいかがでしょうか。

私の方は先日、福井県庁の方々にお声かけいただき、東京・南青山にて開催された「FUKUI SHIFT vol.1 移動多めで生きる人たちのリアル」というイベントに登壇してきました。

このイベントは福井と首都圏を行き来する二拠点居住の実践例を紹介するもので、福井県主催で開催されました。

当日は、東京と静岡県東伊豆町の二拠点居住を実践する経営者、都内で複数のコワーキング施設を運営する若手経営者、東京と福井の二拠点居住を5年以上実践しているデザイン事務所の経営者など様々な立場の方が登壇し、二拠点居住のリアルや注意点などが語られました。



現場のリアルをお伝えしました

私からは、これまでの活動内容を基に、南越前町での二拠点居住を見据えた具体的なお話をさせていただきました。

参加者の皆さんからは「福井との具体的な関わり方のイメージができた」「いつかは福井に帰りたと思っていたが、二拠点居住という関わり方があったんですね」といった感想が聞かれました。

今回はいつもとは違う切り口で、現場代表としての登壇となったのでプレッシャーもありましたが、その分深く、南越前町、ひいては福井県の魅力を伝えることができたと感じています。

まもなく就任して2年になりますが、活動の幅が広がってきており、町に興味をもって関わりたいと声をかけてくださる方々が着実に増えていっていると感じています。この調子で引き続き頑張っていきますので、応援よろしくをお願いします！

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013



MINAMECHIZENCHO_IJYU
Instagram



福井への関心の高さを実感しました

統計調査 登録調査員募集

統計調査活動にご協力いただける登録調査員を募集しています。

統計調査は防災計画や住みよいまちづくりなど、様々な場面で活用されており、登録調査員はそれを支えるなくてはならない存在です。登録調査員は非常勤で、未経験者向けの研修もあり、初めて登録する方も安心して活動ができます。なお、活動に応じて調査員報酬があります。

応募条件

- ① 原則、20歳以上の方
- ② 責任を持って調査事務を遂行できる方
- ③ 秘密の保護などに関し、十分理解し遵守できる方
- ④ 警察、税務および選挙に直接関係のない方
- ⑤ 拘禁刑以上の刑に処せられていない方
(その刑の執行が終わった者および執行を受けることがなくなった者を含む)
- ⑥ そのほか調査期間中の調査活動に支障がない方

応募締切

2月27日(金)

登録日

4月1日(水)

有効期間

2年間(ただし、登録取消しの申出がない場合は更新させていただきます)

応募方法

町ホームページ掲載の「統計調査員登録申請書」と「意向確認書」をご記入の上、総務課に提出してください。

■提出先・問合せ 総務課 ☎ 0778-47-8000

【令和8年度実施予定の統計調査】

● 経済センサス活動調査

活動期間：4月から6月頃まで

活動内容：事務説明会出席、調査、
調査資料の整理や提出など



町ホームページ



こんにちは！地域おこし協力隊の古田です。寒さの中にも少しずつ春の気配を感じる日々ですが、皆さま元気で過ごしてはいかがでしょうか。いつもは仕事の話が多いので、今回は暮らしのことについて書きたいと思います。

今年は、私が南越前町に来て以来、最も雪の洗礼を受けた年となりました。特に1月下旬にかけて、雪が降り続いた時はかなりドキドキしました。国道、鉄道が止まったことで、関西方面との往来が出来なくなり、

屋根の雪はどんどん積もり、車も雪で埋まり…このまま降り続けたらどうなるんだろうと、不安な気持ちになりました。「道も車も雪で埋まって、買い物行けなくなったら俺、餓え死にするんちゃうか…」と本気で思いましたね。

幸い、しばらくすると雪は止み、ご近所さんからも「これくらいやったら、大したことないわ〜」と声をかけていただいたので、安心しました。ただ、朝の出勤前に、車に積もった雪をおろし、道路までの雪をかく作業は「マジで、勘弁してくれ…」と思いました。



こんな景色も雪国の醍醐味です

一方で、この寒さや雪がこの町の美味しい水や米、野菜などを育み、春の美しい景色を作っているのだと思うと、そんなに悪いものでもないのかなと思います。降雪が落ち着いてくると、皆さま家から出てこられ、「降ったね〜」と声をかけ合いながら、除雪をする様子がとても好きです。私もその輪に混ざりながら、一緒に作業をしていると、雪国ならではの人のつながりを感じられます。

私はこれまで、ずっと雪のない地域で暮らしてきたので、毎年雪が降ると戸惑ってしまいますが、ちょっとずつ楽しめるようになってきたと感じています。

そして雪も含め、この町で暮らし、体感したことをありのままに町外の方々にお伝えすることで、「雪国の暮らしはこういうこと」、「楽しいことも大変なことも両方ある」と納得された方々に来ていただくことが、南越前町の発展につながっていくと考えています。

任期残すところあと1年となりましたが、町に関わる人を増やしていけるよう、最後まで駆け抜けたしたいと思います。引き続き応援よろしくお願ひします！

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013



MINAMECHIZENCHO_JYU
Instagram

第21回 南越前町山海里コンテスト

花はすモデルの部

南越前町山海里写真コンテストは、南越前町の風景や人物、イベントなどを題材とした写真を広く募集しており、「花はすモデルの部」に19名の方から56作品を応募いただきました。厳正なる審査の結果、南越前町長賞や南越前町観光連盟賞など、8作品の受賞が決定しました。そのうち、4作品をご紹介します。



「涼しげな…」 渡辺修一（鯖江市）



「まなざし」 竹内進（福井市）



「美しく咲く」 永見典嗣（越前市）



「花はすと美女」 三浦吉之（久喜）

■問合せ (一社)南越前町観光連盟 ☎ 0778-47-3414

南条サービスエリア上り線 パート アルバイト大募集!

★学生バイト、夜勤に入れる方、大募集中!!

【募集内容】

- フードコート 接客・キッチンスタッフ
- スナックコーナー 接客・キッチンスタッフ

【時給】

一般・学生（5:00～22:00）

平日1,070円 土日祝1,100円

深夜勤務（22:00～5:00）

平日1,337.5円 土日祝1,375円

【募集時間帯】 ※勤務時間、曜日は応相談

- ① 8:00～18:00（4時間ほどの勤務もOK!!）
- ② 17:00～22:00
- ③ 20:00～24:00（特に土日祝）
- ④ 24:00～ 8:00

【応募先】

三谷商事株式会社 レストラン部

TEL.0778-47-3596（8:00～20:00）

▲こちらは有料広告欄です



2月16日付けで、地域おこし協力隊1名が着任しました。

まきの ゆうすけ
牧野 友輔 (39歳)

プロフィール

福井県坂井市出身。愛知県の大学を卒業後、これまで一つの業界や職場にとらわれず社会人経験を重ねてきました。趣味はモルックで、幅広い年代の方々と交流しながら楽しんできました。



活動内容

住まいを中心とした移住促進に関わる業務に取り組みます。

活動の抱負

南越前町には、昔ながらの“温かいおせっかい”が残っていると聞き、心が動かされました。私が暮らしてきた地域では、地域のつながりが薄れていると感じることが多く、南越前町の皆さまの温かさに触れられることを楽しみにしています。これから皆さまとの交流や対話を通じて、南越前町ならではの魅力や温かさを体感し、町外をはじめとした多くの方々に広めていきたいと考えています。



MINAMIECHIZENCHO_IJYU
Instagram

こんにちは！地域おこし協力隊の古田です。暖かくなり春本番を迎えようという日々ですが皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

先日、「南条の魅力を発信しよう」という発表会にお招きいただきました。この発表会は、南条小学校6年生の皆さまが、ふるさととの課題を知り、解決策を提案するというものです。学んだ情報をただまとめるだけではなく、皆さまが感じたことが提案に盛り込まれていて、本当に感動しました。

そして、発表を聞く中で、私自身も地域愛を言葉にするところから逃げているはいけなと強く感じたので、ここでお話しさせていただこうと思います。

私は大阪で生まれ育ちました。今でも大阪のことが好きです

し、大阪で道を聞かれたりすると、つい丁寧に案内してしまうのも「大阪の印象が少しでも良くなったらええな」という気持ちがあるからです。では、その「好き」はどこから来ているのでしょうか。

考えてみると、よく通った店があり、顔の浮かぶ友人がいて、自分の思い出がいくつも積み重なっている。そんな「自分の物語」が、その町と結びついているからではないかと思います。

ご縁があって南越前町に来て早5年目、同じように少しずつ顔の浮かぶ人が増えてきました。ある日、越前市の園芸店の方に「南越前町はええ町や。みんな穏やかで優しい。あんた、ええとこ選んだな」と言っ



6年生の皆さまによるポスター (2)



6年生の皆さまによるポスター (1)

ていただいたことがあります。その言葉を聞いたとき、私はとても嬉しくなりました。

「穏やかで優しい町」。それがこの町のアイデンティティの一つなのかもしれない、と感じたからです。そして同時に、自分もその一部になれるだろうか、と少し背筋が伸びる思いもしました。

地域への愛着は、生まれ育った場所だから自然に生まれるものだけではなく、関わった分だけ少しずつ育っていくものなのかもしれません。

みなさんは、この町のことをどう思っていますか。そして、この町はどんな町であってほしいと感じていますか。もし、この町が「穏やかで優しい町」だとしたら、私もその一部でありたい。そのためにできることを1つずつ重ねていきたいと思っています。

■ 問合せ 観光まちづくり課(4月1日～みらい創造課) ☎ 0778-47-8013